

## 知床国立公園知床五湖利用調整地区におけるヒグマの安全管理対策について

### 1. 知床五湖利用調整地区におけるヒグマの目撃状況

知床五湖は年間 30 万人を超える利用者が訪れ、その内約 6 万人が地上遊歩道を利用している。周辺地域と同様にヒグマが高密度に生息しており、近年は年間 100 件程度のヒグマの目撃が確認されている。

### 2. 知床五湖利用調整地区におけるヒグマの安全管理対策

知床五湖には以下の 2 種類の歩道が設置されている。それぞれ下記のヒグマ対策を実施している。

#### ① 高架木道

全長約 800m の高架型バリアフリー木道で、湖と知床連山の雄大な景観を楽しむことができ、全線にヒグマの侵入を防ぐ電気柵を設置しているため、安全に散策することが可能。

#### ② 地上遊歩道

知床五湖を周回できる歩道で、小ループ（全周 1.6km）、大ループ（全周 3km）に分かれ、静寂な雰囲気の中で原生的な自然を楽しむことができる。

なお、地上遊歩道では、ヒグマとの遭遇回避や遭遇時の対応のため、利用にあたって以下を義務付けている。

- 通期（植生保護期（開園～5/9、8/1～閉園）及びヒグマ活動期（5/10～7/31））  
ヒグマの生態や遭遇時の対応などに関する事前レクチャーの受講。
- ヒグマ活動期（5/10～7/31）  
ヒグマ対策等に関する所定のカリキュラム（研修及び試験等）を修了した登録引率者（認定ガイド）の同行。  
（※ヒグマ遭遇時のマニュアルを作成し、現地調査や事故発生時の対応、歩道の閉鎖基準、連絡体制等を明確化し、関係機関で連携して適切に運用している。）

### 3. ヒグマ活動期での安全管理対策の向上に向けた新たな取り組み

- 登録引率者へのヒグマ対策の研修拡充【令和 8 年度より実施】
- ヒグマ出没が多く確認されている夕方の一部ツアーの削減【令和 8 年度より実施】
- ヒグマの目撃が多い地点への一時的な看板設置等の注意喚起【令和 7 年度より実施】



ヒグマ侵入防止のための電気柵（高架木道）



事前レクチャーの様子